

# 石狩市立浜益中学校 研究発表



研究担当：小野寺紗希

## 研究主題

適切な「思考・判断・表現」ができる生徒の育成  
～個別最適な学び、協働的な学びの工夫を通して～

## 研究仮説

多様な生徒たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びと、生徒同士が教えあい学びあう協働的な学びを一体的に充実させることで、広い視野を持ち、深い思考を行い、自分の意見を発信できる生徒が育成できるだろう。その結果生徒は、未知の状況にも対応できる、適切な「思考・判断・表現」ができるようになるだろう。

### 研究の重点と年次計画

- (1) **1年次：授業内における「個別最適な学び」「協働的な学び」についての理論研究**
- ① 研究の初めに、適切な「思考力・判断力・表現力」について、全教職員で共通理解を持つ。
  - ② 「個別最適な学び」「協働的な学び」とはどのようなものか、それぞれ具体的に何を行うとよいのかについて、各教科で研究する。
  - ③ 各教科での研究や実践を交流し、授業改善へとつなげる。
- (2) **2年次：「個別最適な学び」「協働的な学び」を往還させた授業展開の検証**
- ① 適切な「思考力・判断力・表現力」を育むために、「個別最適な学び」「協働的な学び」をどのように充実させればよいか研究する。
  - ② 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を、どのように往還させると効果的か研究する。
  - ③ 充実した「個別最適な学び」「協働的な学び」をしている生徒の姿の見取り方について、研究する。
- (3) **3年次：「個別最適な学び」「協働的な学び」が一体的に充実し、適切な「思考力・判断力・表現力」へとつながる授業の実践**
- ① 「個別最適な学び」「協働的な学び」が一体的に充実することで、「主体的・対話的で深い学び」へとつながったか、検証する。
  - ② 1・2年次の実践をもとに、生徒が適切な「思考力・判断力・表現力」を育めたか検証する。
  - ③ 生徒が、どのように変容し、どのような力が得られたのかを分析し、まとめる。

### 「適切な思考力・判断力・表現力」とは

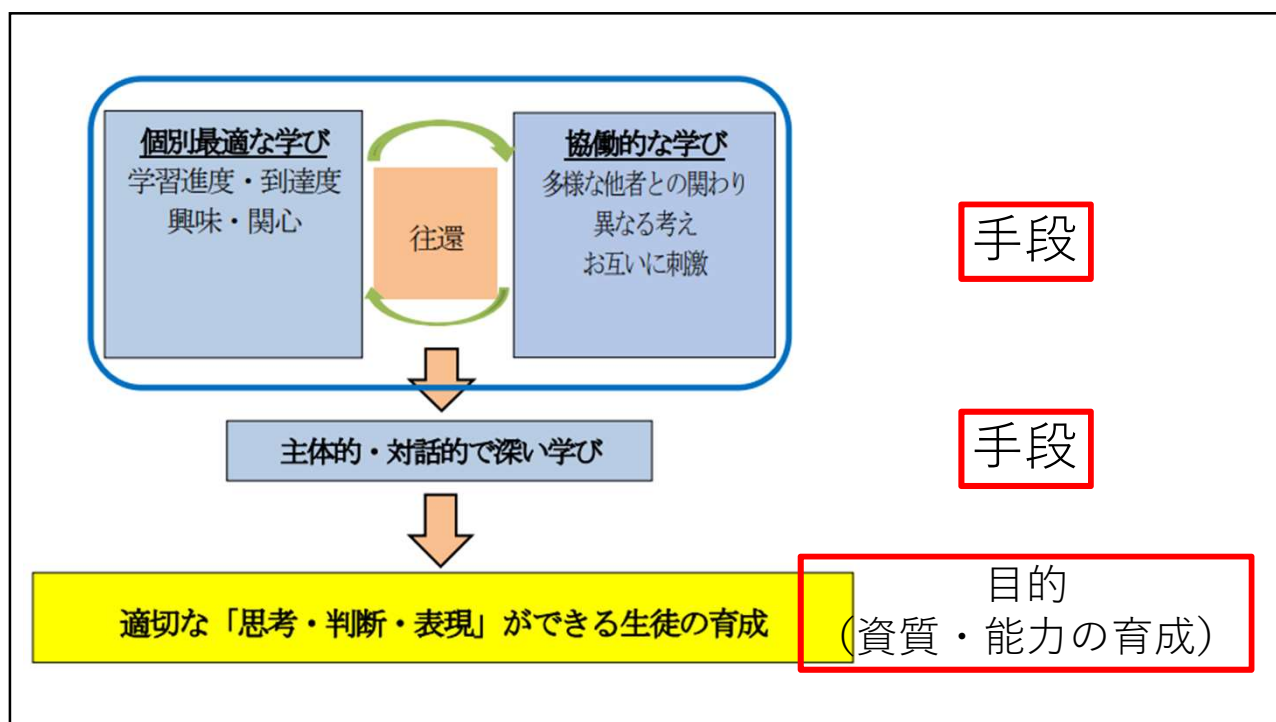


思考力・判断力・表現力等を育むためには、例えば、次のような学習活動が重要であり、このような活動を各教科等において行うことが不可欠であるとしている。

- (1) 体験から感じ取ったことを表現する
- (2) 事実を正確に理解し伝達する
- (3) 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする
- (4) 情報を分析・評価し、論述する
- (5) 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する
- (6) 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる

個別最適な学び  
協働的な学び

※学習指導要領より



## 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還

子どもたちは「個別最適な学び」の中で、分かったことや困ったことが生じる。そこで、分かったことを他者に伝えたり、困ったことを他者と協働して解決したりするという「協働的な学び」を行う。「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、さらにその成果を「個別最適な学び」に還元することが、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還である。



# 4月に生徒に提示

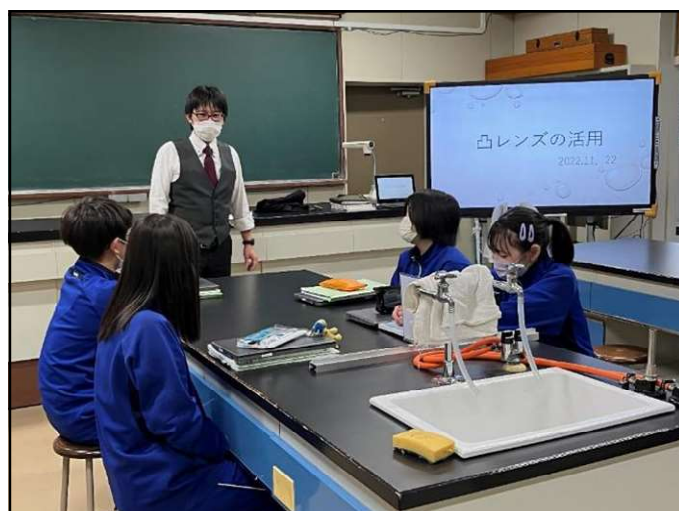
## 授業マグネットについて

浜中では、生徒の皆さんが授業に取り組みやすくなるように、また「思考力・判断力・表現力」を育めるように、全ての授業で統一したマグネットを使います。(同じ色で電子黒板等に写す授業もあります。)先生方は教科や授業内容に応じてマグネットを使い分けるので、皆さんもその意味を考えたしながら、目標や課題の達成に向けて毎時間の授業に臨みましょう。

目標	めざす「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」。
課題	解決すべきこと・問題。
まとめ	課題に対する答え・結論。
振り返り	学習したことを目標に沿って振り返ることで、何を学んだのか、どのように学んだのかを自覚して、次の学習につなげる。

令和4年度浜益中学校 校内公開授業参観シート					令和5年度浜益中学校 校内公開授業参観シート				
月 日( )		年 組	授業者	記入者	月 日( )		年 組	授業者	記入者
段階	内容 (個別最適な学び・協働的な学び)	チェック欄 よい ⇄ 改善		メモ	段階	内容 (個別最適な学び・協働的な学び)	チェック欄 よい ⇄ 改善		メモ
導入	課題や目標提示などにより、本時や単元の見通しを持たせているか。	A B C D			導入	課題や目標提示などにより、本時や単元の見通しを持っているか。	A B C D		
	個々の特性や学習到達度等に応じ、指導方法・教材等の工夫を行っているか。	A B C D				展開	個々の特性や興味・関心等を生かして、一人ひとりに応じた学習活動や学習課題を、自分で選択して取り組んでいるか。	A B C D	
展開	個々の特性や興味・関心等を生かして、学びを深めたり広げたりする場面を適切に設定しているか。	A B C D			展開		他者と関わることで、知識・技能を身に付けたり自分の考えを深めたりしているか。	A B C D	
	思考・判断を促すような適切な教師の働きかけや問いかけ等があるか。	A B C D				「協働的な学び」の場面では、協働的に関わり、思考の中で $\alpha$ が生まれているか。	A B C D		
	「個別学習」で得た知識等を「協働的な学び」に生かす場面を適切に設定しているか。	A B C D					「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させるために、ICTを適切に活用しているか。	A B C D	
	自分の考えを表現する場や手段を適切に設定しているか。	A B C D				「協働的な学び」で得た知識等を振り返り等「個別最適な学び」に生かしているか。		A B C D	
	互いの考えを認め合ったり比較したりすることで、自分の考えを深めたり広げたりする場を設定しているか。	A B C D					本時を振り返り、次につなげるまとめや振り返りができているか。	A B C D	
	学びを豊かにするために、ICTを適切に活用しているか。	A B C D				一時間を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の住違がなされているか。		A B C D	
本時の目標達成のために、適切な学習活動であったか。	A B C D			一時間を通して、教師よりも生徒が忙い授業になっているか。	A B C D				
終末	「協働的な学び」で得た知識等を振り返り等「個別学習」に生かす場面を適切に設定しているか。	A B C D				終末		A B C D	
	本時を振り返り、次につなげるまとめや振り返りができているか。	A B C D					A B C D		
その他よかった点				その他改善点	その他よかった点				その他改善点

令和5年度浜益中学校 校内公開授業参観シート				令和5年度浜益中学校 道徳授業参観シート					
月	日( )	年 組	授業者	記入者	月	日( )	年 組	授業者	記入者
段階	内容 (個別最適な学び・協働的な学び)			チェック欄 よい ⇄ 改善	メモ				
導入	課題や目標提示などにより、本時や単元の見通しを持っているか。			A B C D					
	個々の特性や興味・関心を生かして、一人ひとりに応じた学習活動や学習課題を、自分で選択して取り組んでいるか。			A B C D					
展開	他者と関わることで、知識・技能を身に付けたり自分の考えを深めたりしているか。			A B C D					
	「協働的な学び」の場面では、協働的に関わり、思考の中で+αが生まれているか。			A B C D					
	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させるために、ICTを適切に活用しているか。			A B C D					
終末	「協働的な学び」で得た知識等を振り返り等「個別最適な学び」に生かしているか。			A B C D					
	本時を振り返り、次につなげるまとめや振り返りができているか。			A B C D					
	一時間を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還がなされているか。			A B C D					
	一時間を通して、教師よりも生徒が忙しい授業になっているか。			A B C D					
その他よかった点			その他改善点						



## R4研究授業 (理科)





<p>終末 (10 分)</p>	<p>○カメラや顕微鏡にある“しぼり”という仕組みについて、説明する。 ○Teamsを開き、振り返りを記入する。</p>	<p>○実際の顕微鏡を観察し、“しぼり”がレンズに入る光の量を調節していることを説明する。</p>	<p>個別最適な学び</p>
<p>振り返り：（各自でパソコンにて行う。） 凸レンズの上半分を隠しても光はあらゆる方向に拡散しているため、レンズの下半分を通過した光によって物体全体の像を結ぶことは出来る。しかし、像を結ぶ光の量が半減するため、形は変わらずに暗い像が出来る。</p>			

## R4研究授業事後研究から見えた 授業づくりのポイント

- (個) 生徒が選択する場面を作る
- (個) 振り返りの視点を明確にし、次の学びへつながるように書かせる  
→R5に各教科での実践交流を実施
- (協) 生徒同士を協働的に関わらせる



## 令和5年度 校内研修 全員実践目標「協働的な学び編」

①浜中スタイル「協働的な学び編」  
を、協働的な学びを行う前に全  
体で確認したり意識してほし  
いことを伝えたりする。

②「わけわかめちゃん」を使う。  
例：分からないときの意思表示、  
教師がかぶる、復習時に使  
う

### R5 浜中スタイル「協働的な学び編」

#### 【伝えるとき】

1. ひとり1回以上話そう
2. 自分の言葉で伝えよう
3. 考えを言ってからその理由を伝えよう

#### 【聴くとき】

1. 反応しよう

表情👉👎・身振り・相槌「なるほど〜」「そうなんだ!」・ほめる「すごい!」「よく気付いたね!」

2. 確認しよう、言い換えよう

「それって…と考えたってことだね?」「それって分かりやすく言うと…ということ?」

3. 話してもらおう

「それどう思うの?」「OOについてもっと話して!」

4. コメントしよう

#### 【一緒に考えるとき】

1. 全員が同じくらい話そう
2. 自分の考えと同じところと違うところを見つけて伝えよう

# 授業中「協働的な学び」を行うとき、 分からない人の役をやるときに登場する キャラクター「わけわかめちゃん」 のイラスト案を募集します！



キャラクター3体「わけわかめちゃん(1号・2号・3号)」のイラスト原案を全校生徒・先生から募集します。(生徒の皆さんは1人1枚応募してくれるかな?♥)何枚応募してもOKなので、応募用紙が足りなくなったら、玄関から持って行ってください。応募者多数の場合、全校投票を実施して決定します。

可愛い(ブサ可愛い?)キャラクターとともに、気持ちを盛り上げながら仲間と学びを深めましょう!イラストが得意な人も、独特な絵を描く人も、ぜひ応募を!!

## わけわかめちゃんのイラスト応募用紙

- ①この紙1枚につき、1体描いてください。
- ②なるべく大きく描いて、色をつけてください。
- ③応募締切は6月30日(金)で、小野寺に提出してください。



名前 ( )

## 【1年生】

### わけわかめちゃんのイラスト投票用紙

皆さん、たくさんの応募ありがとうございました♥  
予想以上に多くの素敵な応募があったので、  
学年ごとに3体決めることにします!



- ①玄関に貼ってある自分の学年の候補の中から、3体選びます。
- ②書いたら、玄関にある投票箱の中にこの紙を入れてください。
- ③投票締切は、7月4日(火)の帰ります。
- ④全員必ず投票してください。

名前 ( )

選んだ番号

## 「わけわかめちゃん(1号・2号・3号・4号)」が決定!

【1年生】



【2年生】 投票によって決まらなかったため、全員がデビューすることになりました。



【3年生】



教室前方に掲示された R5 浜中スタイル「協働的な学び編」も今後意識しながら、仲間とわけわかめちゃん(1号・2号・3号・4号)とともに学びを深めていきましょう!

## マイ「わけわかめちゃん」を使うことになりました!

【1年生】



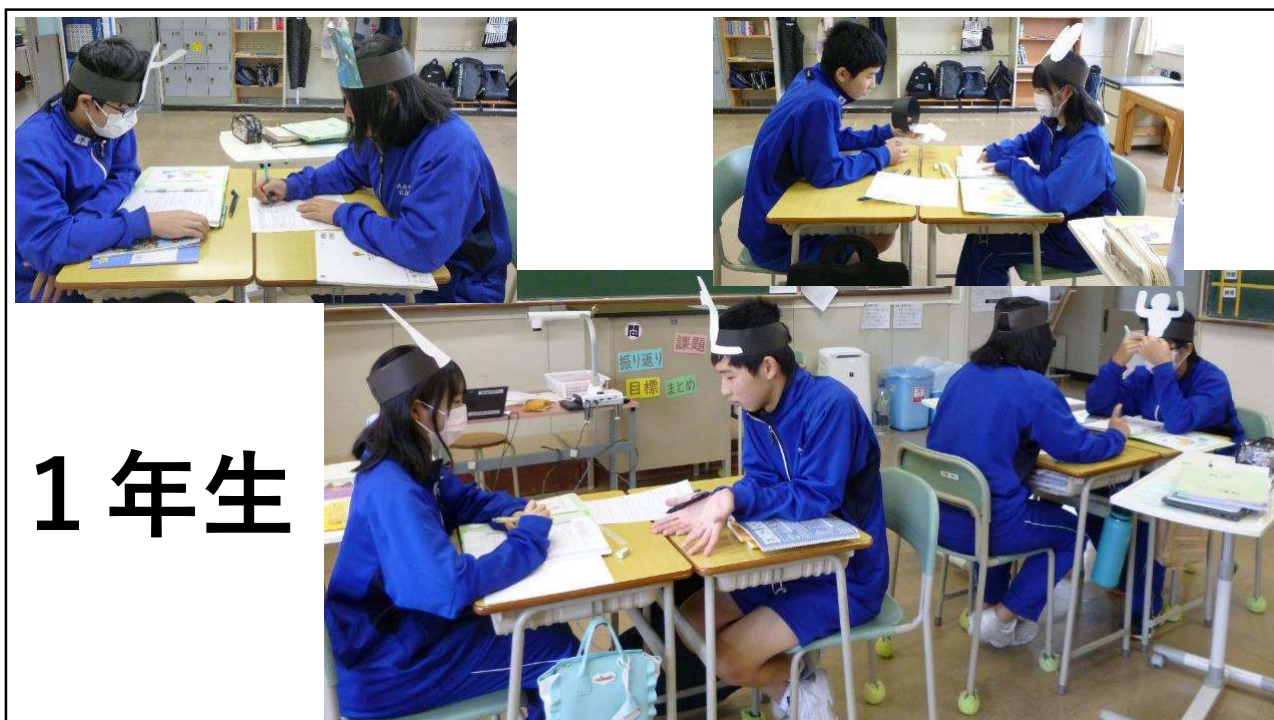
【2年生】



【3年生】



机の横にかけておき、分からないときはそーとかぶったりおいたりしましょう。「分からない」と言えなくても先生や仲間が助けてくれます!他にも色々な使い方をしながら、仲間とわけわかめちゃんとともに学びを深めていきましょう!



# 1年生



# 2年生

## ICT活用の実践

名前：個別最適な学び	名前：協働的な学び	名前：課題、その他疑問など	増田：google翻訳の活用 水崎：50分同一教材でなく15分×3など工夫	小野寺：発表パワポの作成	白鳥：自身の動画を見せ合い、アドバイスをもらう。	石：書く・話す活動における、参考資料の動画閲覧。(DVD・NHKforSchool)	白鳥：楽譜テストの代わりに楽譜動画を使っているところもあるが、録音のアップロードやコメント記入などに余裕時間を取られる。
小松：証明の方法を調べ、ワード等でまとめる。	小松：思考ツールの一つとしてjamboardを活用	小野寺：Teamsの音読練習	石：見本演奏を視聴してから、個人作品の作成。	石：演奏を録画し確認し、改善する。	小野寺：発表練習を撮影して見て修正	白鳥：体育館に電子黒板がない。	白鳥：端末を使う時間が増えるほど、体を動かす時間が減る。
白鳥：自身の動きの撮影	小松：イフンの「かすたねっつ」とでの動画視聴。	白鳥：Youtubeなどの動画を見て、参考にする。	久富：文章作成 文字を書くのが苦手(できない)生徒がタブレット入力により表現ができるようになった。	白鳥：注釈では、やり方を事前に撮影し、必要な情報を生徒が自由に取り出し、説明を動画で見ることが出来る。	水崎：複式や2B、2Cとの合同授業	白鳥：市町村によって使用する端末が異なり、データの流用がでなくなることもあり得る。	小松：タブレットで同時に2つ以上の作業がしにくいことがあり、困ったことがあった。
小野寺：ディベート等の資料収集	増田：授業に関する動画を見てから授業開始。	石：課題設定時のインターネット検索。(ACボスター)	増田：文章作成 文字を書くのが苦手(できない)生徒がタブレット入力により表現ができるようになった。	小松：Xsyncによるノートや画面の共有	小松：Xsyncによるノートや画面の共有	白鳥：基本的に屋内でしか使えない。外に持ち出せるのは稀。	小松：数学独自の記号や数式等が入力しにくく、単元によって少し使いにくい。
小野寺：スピーチ原稿作成	石：文章作成。国語科の課題の提出。200文字以上の文章を書くときはワードを利用。	石：わからないこと、気になることはすぐ検索！	増田：生徒の進捗状況に応じた指導	増田：タブレット検索を活用し、ウクライナの地域や歴史的背景について紹介させた。	小松：生徒が電子黒板上で操作して、発表	増田：重たいので持ち運びがしにくい。	石：すららドリル、国語も使いやすいな...
						久富：「文字を書く」ということは義務教育で学ぶ大事な事	石：生徒も教師も『気軽に』振り回れるようにしていきたい。





## R5校内公開授業 (社会)

### 道徳科における「個別最適な学び」

<b>導入</b>	子どもの日常における道徳的問題を振り返り、個々の学習課題（自分自身の問題）として認識する。
<b>展開・終末</b>	他者の多様な感じ方や考え方をもとに、道徳的価値について多面的・多角的に考え、自問しながら自己を見つめ、これまでの価値観や経験などをもとに、自己の生き方について考えを深めていく。

※最適な学びにするための工夫

- 子どもの発言をもとに学習課題を示し、子どもの話し合いから学習課題を設定する。
- 教材を通して生まれた子どもの興味や疑問から、子どもにとって考えてみたいことを発問にする。

### 道徳科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の往還

次の学習ステップが大切であるが、ICTを活用すると効果的になる。（別資料参照）

個で考える	生徒一人ひとりが自分の考えを明確にする。
他者と話し合う	他者の多面的・多角的な考えを聞き、自分の考えを深める。
再度、個で考える	自分との関わりや人間としての生き方の関わりで深く自己を見つめる。

## NHK for Schoolの活用①

- 【国語】 おはなしの国（古典の導入）  
10min.ボックス（習ったことの復習）  
にほんごであそぼ（言葉の学習）
- 【数学】 アクティブ10 マスと！（確率の導入）
- 【社会】 クリップ（教科書の説明を映像で補う）

## NHK for Schoolの活用②

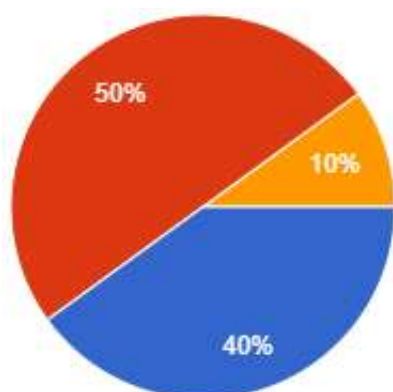
- 【理科】 10min.ボックス（終末で総復習）  
アクティブ10 理科  
（導入か終末での発展的な投げ込み）
- 【音楽】 おんがくブラボー（表現）  
名曲アルバム（鑑賞）
- 【道徳】 ココロ部！



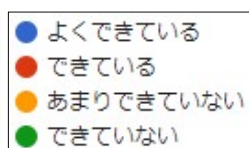
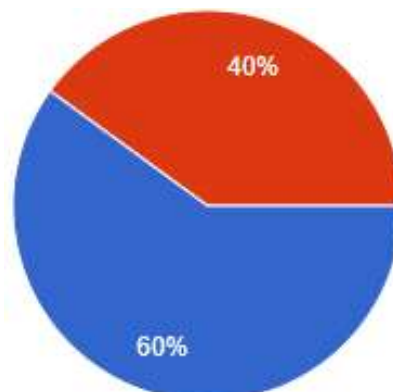
## ココロ部！ (全校道徳)

## 生徒授業アンケート結果①

5月



10月



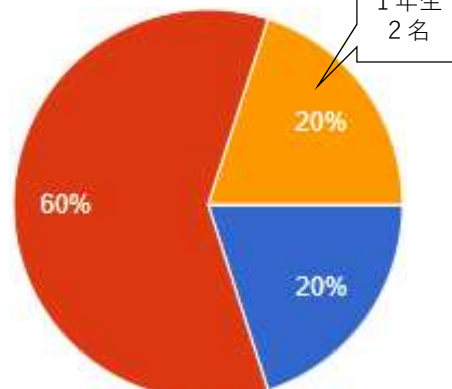
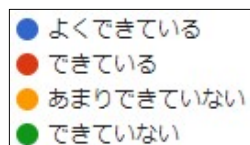
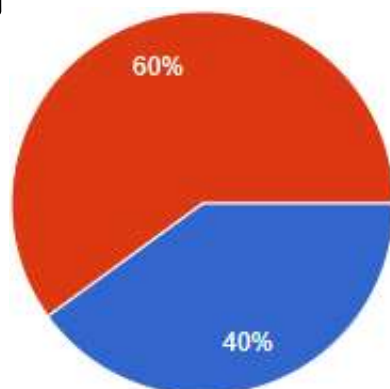
【個別】授業マグネットや電子黒板等で、課題や目標を確認することによって、一時間の授業や単元の見通しを持って授業に臨むことができますか。



## 生徒授業アンケート結果②

5月

10月

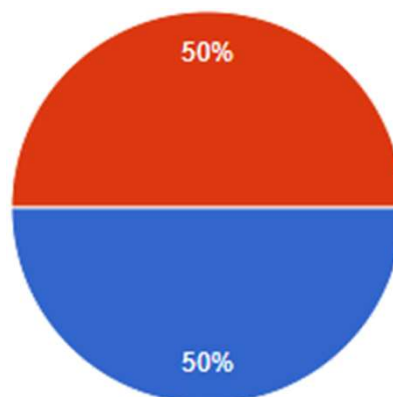
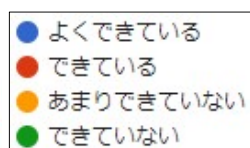
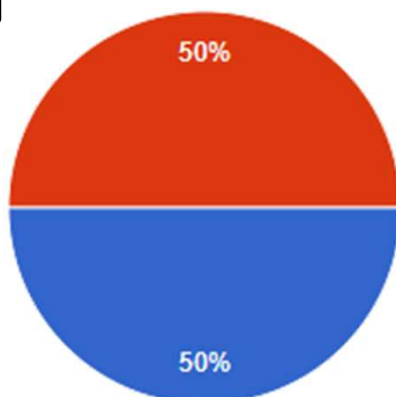


【個別】一人ひとりの特性・理解度・興味関心に応じて、授業が行われていると思いますか。

## 生徒授業アンケート結果③

5月

10月

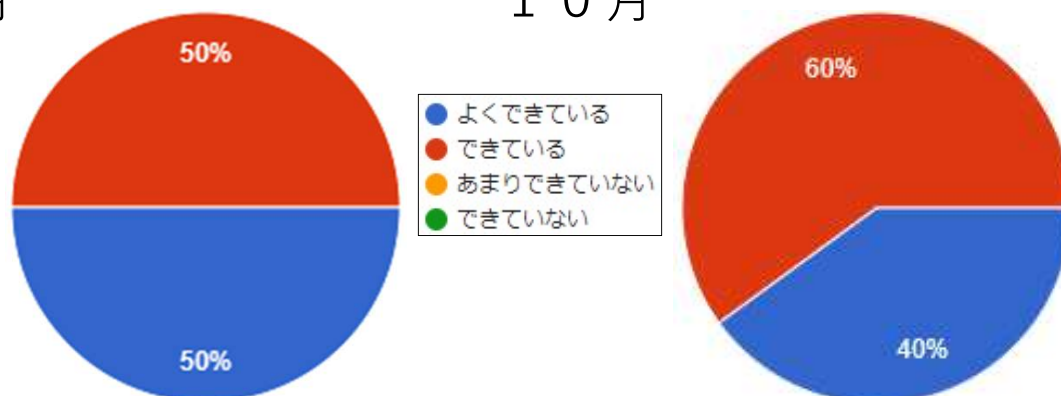


【協働】授業では、自分の考えを表現する場面がありますか。

## 生徒授業アンケート結果④

5月

10月



【協働】授業では、他の人の考えを認め合ったり比較したりする場面がありますか。

## 生徒授業アンケート結果⑤

5月

10月



【個別】 【協働】 一時間の授業の中で、自分一人で取り組む場面と他の人と協力して取り組む場面がどちらもありますか。

## 生徒授業アンケート結果⑥

5月

10月

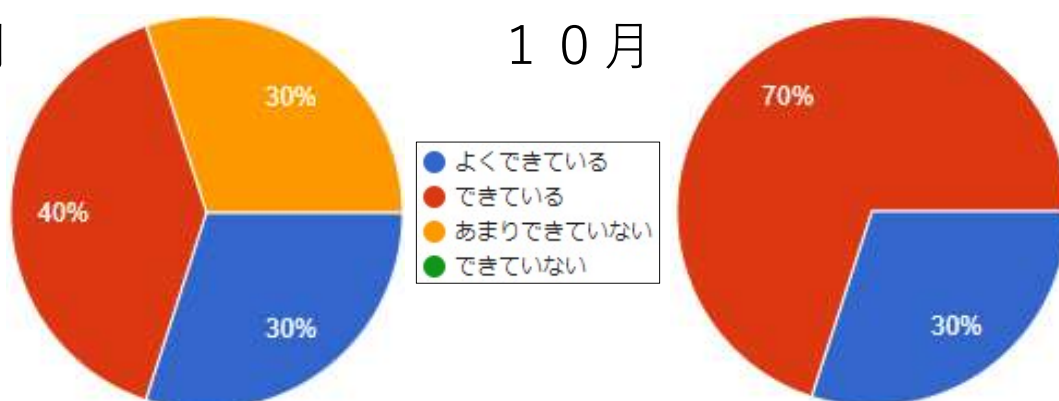


【個別】 【協働】 授業では、パソコンやタブレットを効果的に使っていると思いますか。

## 生徒授業アンケート結果⑦

5月

10月

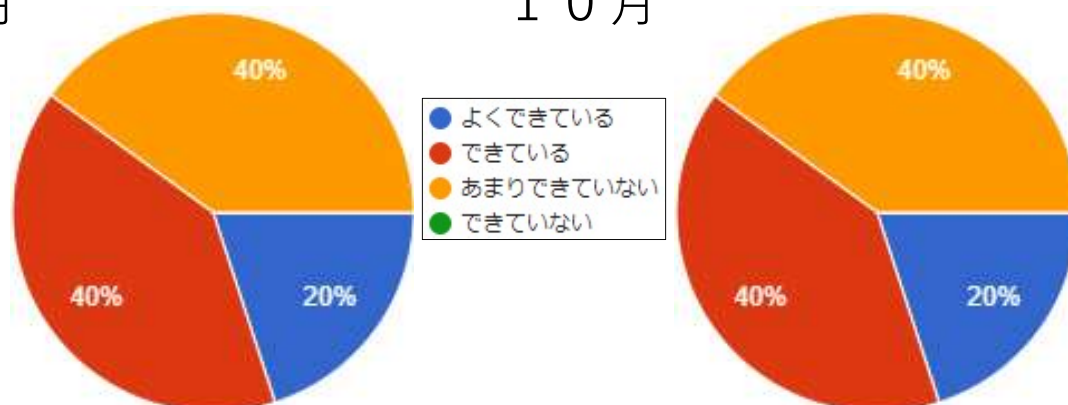


【個別】 授業マグネットや電子黒板、ワークシート等で、授業の最後にまとめや振り返りを行うことで、次の時間への学習につなげることができていますか。

## 生徒授業アンケート結果⑧

5月

10月

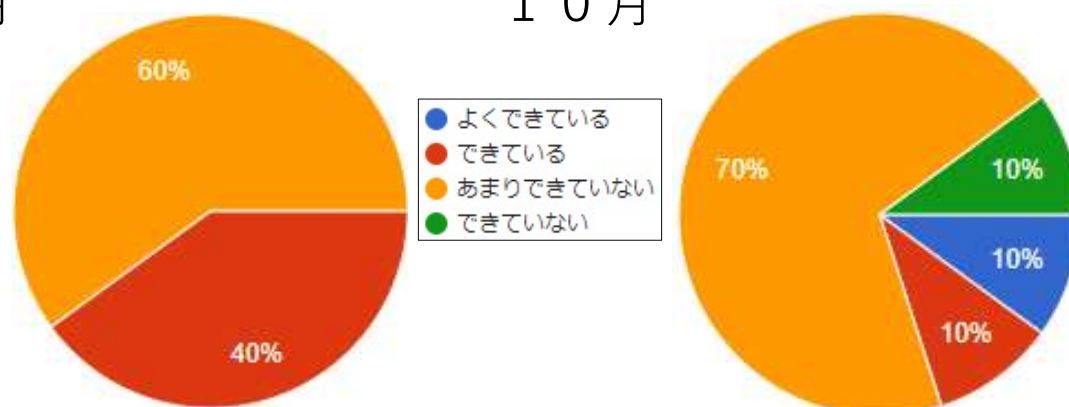


【思判表】あなたは物事をじっくりと考えることができますか。（熟考する）

## 生徒授業アンケート結果⑨

5月

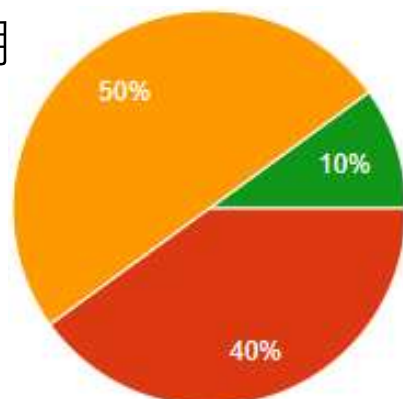
10月



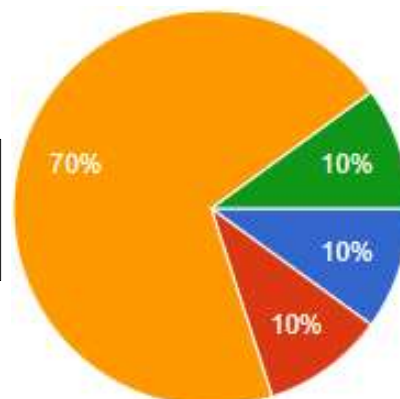
【思判表】あなたは先の見通しをもって、物事に取り組むことができますか。（見通す）

## 生徒授業アンケート結果⑩

5月



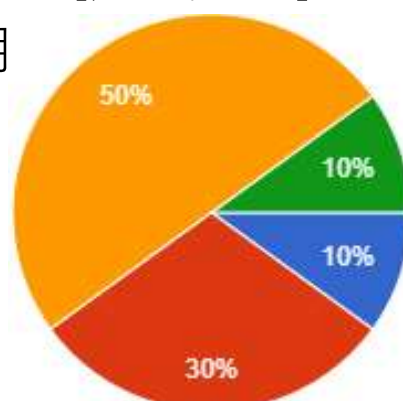
10月



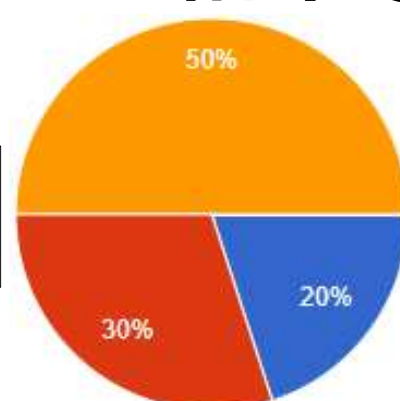
【思判表】あなたはこれからしようとする事について、全体の構成や手順などの計画を立てることができますか。（構想する）

## 生徒授業アンケート結果⑪

5月



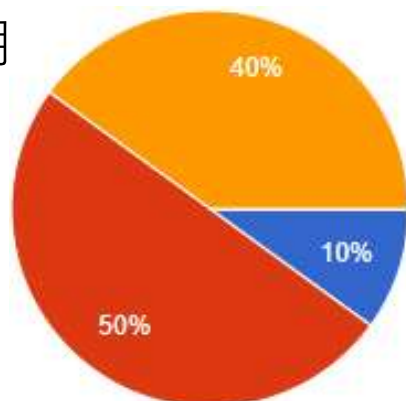
10月



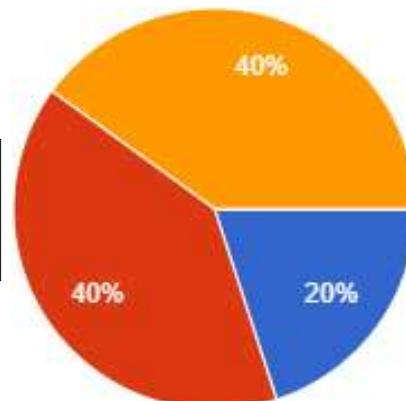
【思判表】あなたは問題となっていることや解決すべきことが何かを考えて、課題を設定することができますか。（課題を設定する）

## 生徒授業アンケート結果⑫

5月



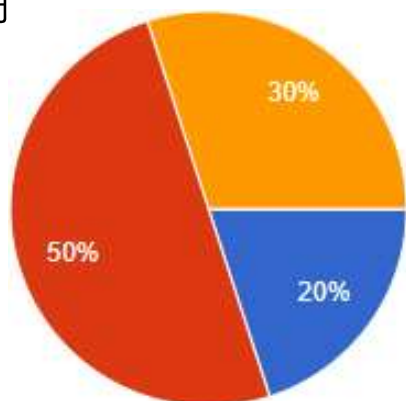
10月



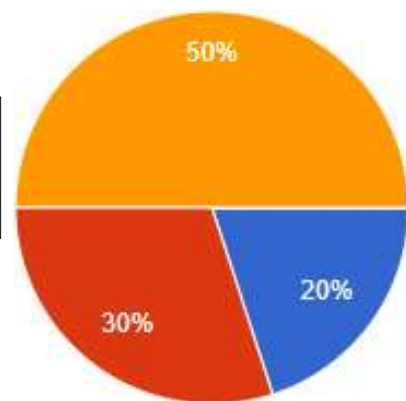
【思判表】あなたは問題となっていることや解決すべきことについて、解決策を考えて行動することができますか。（課題を解決する）

## 生徒授業アンケート結果⑬

5月



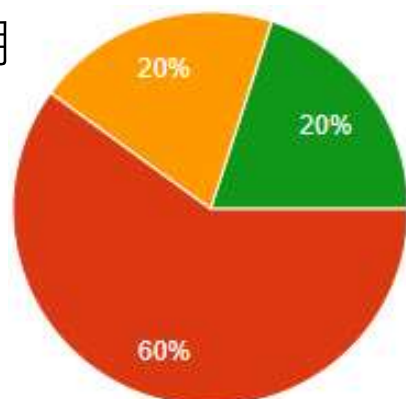
10月



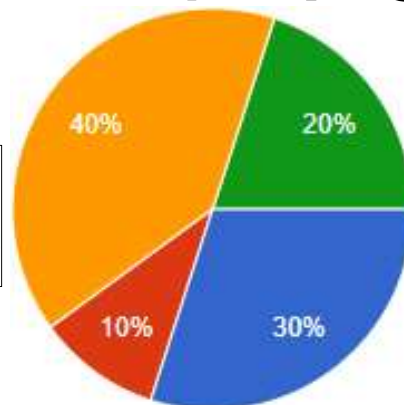
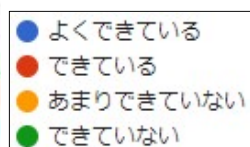
【思判表】あなたは、自分のことを人任せにせず自分で決めることができますか。（自己決定する）

# 生徒授業アンケート結果⑭

5月



10月



【思判表】あなたは自分の伝えたいことを、他の人にわかりやすく伝えることができますか。（わかりやすく伝える）



ご清聴ありがとうございました。